

式 辞

馥郁と菊花香る今日の佳き日に、「越前市制施行15周年記念式典」を挙りましたところ、皆様にはご多用の中をご臨席いただき、厚くお礼申し上げますとともに、平素より市政の推進に温かいご支援とご協力を賜り、重ねてお礼申し上げます。

また、後ほど「市政功労者」並びに「文化功労者」として表彰をお受けになる皆様には、各分野において多大なご功労とご活躍を賜り、深甚なる敬意と謝意を表する次第でございます。

さて、昨年末に中国・武漢市に端を発した新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に世界中に蔓延し、我が国でも感染拡大が続いています。

福井県においては、3月18日に初めて感染者が確認されてから9月30日までに244人の感染者が報告され、越前市においても、3月27日に最初の感染者が確認されてから9月30日までに28人の感染者が報告されています。

市では、2月18日に市新型インフルエンザ等対策本部を設置し、9月25日までに49回の本部会議を開催して、全庁を挙げて取り組みを実施しています。

今後も市民の命と健康を守ることを第一に、新型コロナウイルス

感染症に対する対策を進めてまいります。

さて、平成17年10月1日に、旧武生市と旧今立町の歴史と伝統を受け継ぎ誕生した越前市は、丹南の中心都市として新たな歴史を刻み、本日、市制施行15周年を迎えました。

この15年間、初代の市長として私は、ご参会の皆様をはじめ、多くの市民のご支援とご協力をいただき、旧市町の融和と一体感を図りながら、自立都市の基盤づくりを進めてまいりました。

また、政治信条である「現地現場主義」をモットーに、市民との対話を重視しながら、市民との協働のまちづくりを市職員と一丸となって進めてまいりました。

1期目の市政運営においては、「三位一体の改革」が進む中、持続可能な自立都市を目指して市総合計画の策定、市産業活性化プランの策定による企業立地の促進、ガス事業の民営化など行財政の改革、学校施設の耐震化などに取り組みました。

2期目の市政運営においては、人と人との絆づくりや自然との共生を重視して、長期的な視点に立った「人づくり、ものづくり、まちづくり」に取り組むことを決意し、「夢の教室」の開催など夢を育む教育の推進、市子ども条例の制定、市食と農の創造条例の制定、市コウノトリが舞う里づくり構想の策定、戸谷片屋線の整備などに取り組みました。

3期目の市政運営においては、「半世紀に一度のまちづくり」への挑戦を掲げ、武生中央公園の総合体育館と「だるまちゃん広場」の整備、地方創生に向けた市人口ビジョンと市総合戦略の策定、弓道場やサッカー場、河濯線の整備、文化センターの改修などに取り組みました。

4期目の現在は、「半世紀に一度のまちづくり」の集大成に向け、「福井しあわせ元気国体・大会」の開催、あいぱーく今立と本庁舎の建設、「市民プラザたけふ」の整備、武生中央公園水泳場の再整備、市南越駅周辺まちづくり計画の策定、越前和紙・越前打刃物・越前箆笥の拠点施設の整備、市多文化共生推進プランの策定などに取り組んできました。

皆様のご支援とご協力により、平成30年秋に開催された「福井しあわせ元気国体・大会」は成功裏に開催することができ、「だるまちゃん広場」が大人気の武生中央公園は、令和元年の観光客入込数が142万人と、県内トップになりました。

平成29年8月に起工した本庁舎は、昨年11月に完成して1月6日から業務を開始し、新たに設けた総合窓口では、来庁された市民の負担軽減や待ち時間の短縮が図られています。

また、東部地区の防災・コミュニティの拠点として整備した、あいぱーく今立も平成30年9月に完成し、市民の交流の場、憩いの

場として幅広い世代の市民に利用されています。

さらに、昨年11月に3階部分がオープンした、JR武生駅前の「市民プラザたけふ」は、「市民交流センター」や「てんぐちゃん広場」を多くの市民に利用いただいております。4階部分には1月6日に「市消費者センター」と「市子ども・子育て総合相談室」が、5月7日には「ハローワークたけふ」が移転・オープンし、中心市街地の活性化と市民福祉の向上が図られています。

モノづくりの振興については、県が3月に公表した「令和元年県工業統計調査」によると、本市の製造品出荷額等は6,648億円となり、合併時の平成17年の4,055億円から大きく増加し、県内に占める割合も約3割に増大しました。

その結果、市の住宅支援施策などの効果と相まって、本市の人口は平成29年・30年と2年連続で増加し、本年4月1日時点の人口は、市人口ビジョンの目標値を1,110人上回っています。

コウノトリが舞う里づくりについても、安養寺町の人工巣塔で4月に孵化した4羽のコウノトリが6月から7月にかけて田んぼに降り立ち、ついに巣立ちが実現しました。

今後は、いよいよ2年半後に敦賀開業を迎える北陸新幹線「南越駅（仮称）」の周辺整備が最重要課題であり、3月に策定した市南越駅周辺まちづくり計画の理念である「フォレストシティ&越前市版

スマートシティ」の実現に向け、着実に取組みを進めていくとともに、駅前には令和4年度中の開業に向け、「道の駅」を整備してまいります。

これまでの越前市の15年間の歩みを振り返りつつ、今後も先人が築かれた本市の素晴らしい環境と文化をさらに磨き上げ、新たな魅力を創造し、市民が誇りを持てる「元気な自立都市 越前」を築いてまいる所存でございますので、引き続きのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、ご参会の皆様のご健勝とご活躍、並びに越前市の一層の飛躍・発展を祈念申し上げ、式辞といたします。

令和2年10月1日

越前市長 奈良 俊幸